

花きの県別生産出荷概況(6月見通し)

令和2年5月31日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数 千本 (前年比)	京浜地域向 千本 (前年比)	上旬	中旬	下旬		
バラ	青餅		サムライ アバランジェ	周年 (7~8月)	0.60 (100%)	217 (96%)	195 (96%)	10	40	50	JA津軽みらい	【津軽地区】面積は横ばい。4月は低温で降雨が多かったが、大きな影響は無く順調な生育となっている。6月中旬以降出荷最盛期となる見込み。
	群馬	施設 (周年)	アヴァランジェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	11.8 (97%)	850 (97%)	650 (100%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	生育順調。現状は、出荷制限をしている生産者も一部で見られるが、今後は徐々に通常出荷に戻ると思われる。しかし、生産者の減少により出荷量は平年をやや下回る見込み。病害虫についても、特に問題とはなっていない。
トルコギキョウ	青森		ホクトセイ ボヤージュ ロジーナ	6月~11月 (9月)	4.95 (98%)	895 (103%)	537 (102%)			100	JAつがるにしきた JA津軽みらい JA八戸	【津軽地区】面積は微減傾向となっている。4月の低温・降雨の影響から初期生育が良くなかったが、5月に入ってから好天で回復している。出荷は平年並みの6月下旬を見込む。 【県南地区】面積は微増傾向。越冬品については、4月上旬の低温の影響が若干あったものの、5月上旬の好天もあり、生育は順調。6月下旬から出荷開始見込み。
	群馬	施設 (促成)	ロジーナ ボヤージュ バルカン ほか	周年 (6~11月)	6.2 (100%)	210 (95%)	180 (95%)	40	40	20	太田市 館林市	2番花が出荷最盛期となっている。生育は7~10日ほど前進しており、一部で病害の発生がみられる。6月の出荷量は、生育前進による前倒し出荷や病害の影響もあり平年をやや下回る見込み。
	千葉	施設		4~8月 (6月) 10~12月 (11月)	6.5 (95%)	400 (80%)	400 (80%)	30	35	35	館山市 鴨川市 南房総市 (丸山・千倉)	生育は順調。令和元年房総半島台風による施設被害の復旧が完了しておらず、6月分の植付け面積が減少しているため、出荷量は前年に比べ2割程減少する見込み。6月上旬まではブルーフラッシュ系や白系が出荷量の大半を占めるが、中旬頃から様々な品種の出荷量が増えていく見込み。
	長野	加温 促成 ~無 加温	レイナ系 セレブ系 クラリスP	6月		200 (100%)	150 (100%)	25	30	45	ながの 松本ハイランド	年々、加温作型が減少で6月の出荷ピークが後傾化している。加えて4~5月の低温で生育もやや遅れている。
	熊本	施設	ミヨシ系 サカタ系 八江系など	周年 (11~5月)	21.1 (98%)	415 (減)	228 (微減)	50	35	15	熊本市 菊池 やつしろ くま	6月の出荷量は昨年よりやや少ない見込み。5月下旬頃から2番花の出荷が始まる見込みで6月上旬がピークと予想される。6月下旬までは出荷がある見込みだが、中旬以降は徐々に減少していく。一部、病害虫も散見されるため、防除の徹底を呼びかけている。

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	母の日需要は、小売店は例年通り問い合わせがあったが、チェーン展開を行う店舗は休業も多く、例年売れる品種でも厳しい状況であった。母の日以降、ブライダルは皆無の為、一般小売りに向け、母の月をアピールしながらの販売となった。輸入品もコロナウィルスの影響で、極少量の入荷であった(大田)。母の日で若干盛り上がるも、ブライダル関係仕事なく、後半からは厳しい相場での販売に(FAJ)。カーネーション類同様、母の日需要では動いたが、例年の高値はなくそここの価格帯で動いた感じである。4月の安値で暖房を止めたり、改植した生産者も多い状況であろう。(第一花き)。母の日に向けて相場も強まった。相場は母の日後の週末まで保ったが、その後は弱まった(世田谷)。母の日需要でギフト系商材の動きが活発であり中下位等級の引き合いが強かったが、花束の動きは弱く上位等級の販売は弱かった。入荷量は国内産は各産地出そろったが今までの販売不振と輸入物の入荷が無かったことが響いて例年の7割程度の入荷量であった(東日本板橋花き)。輸入物が少なく国産物の引合いが良く感じたが15日以降に厳しい販売に(東京FP)。	
	見通し	大田花き	例年であれば高冷地が多く出回る時期であるが、昨年からの暖冬の影響で出荷が早まり、やや少なめで推移すると思われる。コロナウィルスの影響でブライダルも皆無と思われる為、厳しい販売が続く。
		FAJ	平年ならブライダルフェアなどイベント多数も、今期は動向不明。
		第一花き	暖地・高冷地の切り替わりがなくなった品目であり、6月に関してイベントとすれば父の日があるが、母の日みたいな動きは見込めないまた、ブライダル等もキャンセルや延期により需要は見込めない。
		世田谷花き	出荷量は潤沢。相場は弱まる。コロナの影響で、例年より更に弱まる見込み。秋口までは厳しいだろう。
		東日本板橋花き	業務需要が無く厳しい販売が予想される。入荷は各産地警戒してか少ない見込み。
		東京フラワーポート	暖地産は改植を進め、出荷は減。山形産増加、輸入物は不確定な入荷が予想される。
トルコギキョウ	現状	主産地は、熊本、愛知、静岡となり、数量は大きな増減なく推移。母の日の需要から引き合いは強く、高値での取引となった。中旬からは小売り中心の需要となった(大田)。栃木・熊本などより入荷。情勢厳しいものの比較的安定した相場での販売続く(FAJ)。西南暖地物が中心であり、色目で価格差や引き合いの強さが見られたが、徐々に終盤な状況であり、後半は厳しいであろう(第一花き)。航空便の減便の影響もあり、例年より少なめ。母の日はそれなりに動きあったが、その後は需要も少なく落ち着いた展開(世田谷)。母の日需要でピンク中心に引き合いが強かった。西南暖地産2番花も纏まり、潤沢な入荷量(東日本板橋花き)。母の日までは比較的単価も持っていたが以降引きも弱く厳しい販売(東京FP)。	
	見通し	大田花き	各産地、2番花の出荷が上旬から始まり、中旬あたりまでピークとなる。長野、山形は下旬頃からの出荷となる。
		FAJ	高冷地に産地切り替わり。山形・福島・長野など徐々にロットのまとまった入荷に。
		第一花き	高冷地物が若干遅れている感じがする。例年より朝晩の気温が低く、しばらくは暖地物が中心の販売状況となるであろう。
		世田谷花き	例年通り、作付けされたものが出荷予定。ウイルス騒動の余波もあり引き合い弱く、求め易い価格になるのでは。
		東日本板橋花き	前進傾向の高知産静岡産が6月中旬で終了予定。北関東中心の入荷。下旬から東北産の出荷が始まる。
		東京フラワーポート	暖地産の生育遅れで5月ものが6月にズレこむ。輸送次第で入荷の増減がある。